

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		志波城跡保存整備事業			事業コード	0921
担当課等	所属名	教育委員会 歴史文化課		担当係名		
	課長名	教育委員会事務局 歴史文化課	担当者名	今野公顕	電話番号	7354

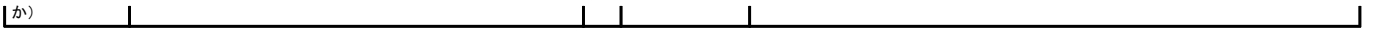
1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化		コード 4	施策	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用	コード 5
	基本事業	歴史的文化遺産の保護と活用		コード 1	関連予算 費目名	一般会計 10款 6項 1目 志波城跡保存整備事業 (004-03) 一般会計 10款 6項 1目 志波城跡用地取得事業 (004-04) 一般会計 10款 6項 1目 志波城跡管理運営事業 (004-05)	
	特記事項	総合計画主要事業					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和61年度～)			
事務事業の概要	盛岡を代表する歴史文化遺産であり、古代陸奥国最北・最大級の城柵である国指定史跡志波城跡を、将来にわたり保存していくため史跡の公有化を行う。かつ、発掘調査により史跡の内容及び歴史的意義を解明するとともに、その成果を積極的に活用を図り市民文化の向上に帰するため、史跡の保存復元整備を実施する。						
根拠法令等	文化財保護法 他						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)							
志波城跡は、803年に造営された古代陸奥国最北・最大級の城柵で、日本古代史上重要なものとして昭和59年に国指定史跡となり、重要地区を将来にわたり保存していくため昭和61年度より公有化を開始。また昭和63年度に史跡保存管理計画を策定し、公有化地区を積極的に活用するための史跡整備事業の構想及び計画を策定。平成5年度より文化庁国庫補助事業として史跡復元整備工事を開始し、平成9年10月より歴史公園として公開。							
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか							
◆市議会では主に以下の質問が出ている。平成8年12月一般質問(整備工事費について)、平成9年12月一般質問(造営1200年の2003年にイベントを開催すべき)、平成10年3月一般質問(整備事業の進捗を図るべき)、平成10年12月一般質問(整備実施計画とイベント開催について)、平成14年3月代表質問(整備事業の具体的内容と年次計画について)、平成15年12月一般質問(桜の植樹を進めるべき)、平成21年12月一般質問(整備事業の計画と促進、用地取得の促進)、他など。◆まちづくり懇談会では次の要望が出た。平成17年度太田地区(志波城古代公園)の早期完成を要望。 ◆来園者アンケート調査結果は次のとおり。平成21年度:今後希望する施設は、復元建物36%、体験施設16%、展示施設16%、休憩所・売店11%、説明板14%。なお、市民や地権者からは、用地取得の早期進展や保存整備の計画的な進展の要望、活用策の充実などの意見・要望が寄せられている。							
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか							
財政事情の悪化にともない事業の進捗が遅れている。歴史文化遺産の保存及び活用に対する市民意識が向上している。							

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 史跡指定面積	単位	m ²
			B. 盛岡市の人口	単位	人
			C. 志波城古代公園入園者	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 公有化面積	単位	m ²
			B. 発掘調査面積	単位	m ²
			C. 保存整備工事面積	単位	m ²
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 史跡公有化率(公有化累積面積/史跡指定面積)	単位	%
			【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
			B. 発掘調査進捗率(発掘調査累積面積/遺跡推定面積)	単位	%
			【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
			C. 歴史公園公開率(公園公開面積/史跡指定面積)	単位	%
			【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献する)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	文化財数(国・県・市指定)(単位:件) 市保存建造物数(単位:件) 歴史・文化資源(石碑・記念碑・歌碑など)累積調査件数(単位:件)		

【か】

A horizontal line with four vertical tick marks. The first tick mark is at the left end, followed by a second tick mark at approximately 10% of the line's length. The third and fourth tick marks are clustered together at approximately 45% of the line's length. The line ends with a vertical tick mark at the right end.

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	史跡指定面積	㎡	635,977.64	635,977.64	635,977.64	635,977.64	635,977.64	635,977.64	30年度 635,977.64
対象 指標B	盛岡市の人口	人	297,592	297,267	297,267	298,148	298,148	298,148	30年度 298,148
対象 指標C	志波城古代公園入園者	人	10,977	13,349	13,500	15,027	15,000	15,500	30年度 16,000
活動 指標A	公有化面積	㎡	1,895.74	661.92	1,347.78	1,258.77	441.14	992.44	30年度 1,160
活動 指標B	発掘調査面積	㎡	1,906	1,159	0	184	300	500	30年度 500
活動 指標C	保存整備工事面積	㎡	1,500	12,000	5,000	5,432	300	993	27年度 1,000
成果 指標A	史跡公有化率(公有化累積面積/史跡指定面積)	%	19.82	19.93	20.14	20.13	20.14	20.16	30年度 21.00
成果 指標B	発掘調査進捗率(発掘調査累積面積/遺跡推定面積)	%	22.26	22.42	22.42	22.43	22.44	22.45	27年度 23.00
成果 指標C	歴史公園公開率(公園公開面積/史跡指定面積)	%	14.93	16.82	17.61	17.61	17.65	17.65	27年度 18.00

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	72,416	69,576	52,740	52,410	56,524	96,273	*****
財源 内訳	④国	千円	42,283	39,972	31,782	32,011	36,552	32,059	*****
	⑤県	千円	0	0					*****
	⑥地方債	千円	19,000	19,000	12,400	11,900	9,800	47,600	*****
	⑦一般財源	千円	11,133	10,604	8,558	8,499	10,172	16,614	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	72,416	69,576	52,740	52,410	56,524	96,273	*****
	延べ業務時間数	時間	1,000	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4,000	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	76,416	74,776	57,940	57,610	61,724	101,473	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 公有化することで開発行為から史跡を保護できる。歴史公園として整備することで、公開・活用ができる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 指定史跡の保存管理は、管理団体である市が文化財保護法に基づき、適正に実施する必要がある。 〚「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 他の指定史跡については別事業で保存整備を進めており、志波城跡は市の歴史を語る上で欠かすことのできない重要な史跡として整備する必要がある。 〚「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 指定史跡は将来にわたって保存し、次世代に継承すべき歴史文化遺産であり、その上で整備活用を図ることが必要である。 〚「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 新たな技術の導入や低コストによる事業実施により史跡整備工事の進捗を進めていくことを検討する。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 史跡公有化を廃止・休止した場合は、土地利用規制に対する補償ができなくなり、地権者の生活に影響が出るとともに、史跡の保全に重大な支障となる。また、保存整備工事を廃止・休止した場合は、史跡の歴史景観形成ができなくなり、保存活用にとって重大な支障となる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 盛岡城跡石垣修復工事・変位測量委託事務事業、遺跡ネットワーク整備事務事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 対象となる指定史跡が異なるため、統廃合は不可能。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 公有化と整備工事は、年次計画を達成することで効果が上がるものであり、成果を下げずに経費削減は難しい。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 工事・補助金・地権者交渉・庁内調整・関係省庁調整などの多岐にわたる業務があり、成果を下げずにこれ以上の業務時間削減は難しい。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 盛岡の歴史を知るための歴史公園として整備しており、誰もが自由に入園し見学散策できることから、公平・公正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 誰もが気軽に歴史に親しめる歴史公園として公開されていることから、入園料等の徴収はふさわしくない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 老朽化したプレハブで代用している公園入口案内施設の整備や要望の多い道路案内標識の設置など、利用者のニーズに添った計画や史跡志波城跡整備基本構想に沿った整備の促進、および史跡の公有化推進。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 第Ⅲ期整備計画を着実に実施していくうえで、財源の確保が必要。用地取得について、市としての方針を定め、長引く計画をできる限り短期間に実施し、地権者に説明する責任がある。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>近年、事業量が落ちており、特に用地取得の鈍化が大きい。地権者が高齢化していくことに伴い、早期買い上げの希望が多く寄せられており、効率的な交渉に努める必要がある。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>整備効果をあげるためには、年次計画に基づく整備、用地取得の事業を進める必要がある。そのため、予算の確保に努める。</p>							